令和７年度　学校評価の結果報告　令和８年２月

１ 学校評価の目的

学校評価は、学校の教育活動やその他の学校運営状況について評価を行い、その結果に基づき組織的・継続的な改善を図ることを目的として実施しています。今年度は下記の４つの重点目標を掲げ、目標達成に向け努力してきました。学校関係者評価を踏まえ、アンケート結果や授業評価、各種調査等を分析した結果の一部を掲載しましたので、ご一読いただき、今後の教育活動にさらなるご協力をお願いいたします。

２ 本校における学校評価のシステムと今年度の学校評価の重点目標及びその実施方法

校　　訓　「寛・明・正」

教育目標

「心身ともに健康で地域産業の一翼を担う、志をもった指導的産業人を育成する。」

目指す学校像

○総合産業高校として、産業全般の基礎的な知識・技術と各分野の高い専門性を身に付けたスペシャリストを育成する学校
○充実したキャリア教育をとおして豊かな人間性や倫理観・規範意識を高めさせ、地域産業を担う人材を育成する学校
○豊富な学校・学科行事をとおして集団の一員としての役割を自覚させ、主体的に行動する力を育成する学校

令和７年度の重点目標

１基本的生活習慣の確立と規範意識の定着
２基礎学力の定着を図り、実社会で通じる実践力の体得
３特別活動の充実を図り、地域連携の一層の推進
４進路実現を達成する進路指導の徹底

PLAN　＝「各部・学年・教科の努力目標・具体策」具体計画（評価表）の作成←「目標による管理」
DO　＝「教育活動の実施」
CHECK　＝「教育活動の評価」
ACTION　＝「改善」

①学校評価アンケート
　評価者…生徒・保護者・教職員　時期…11月　方法…アンケート
②授業評価
　評価者…生徒　時期…12月　方法…アンケート
③年度末学科・学年・各部の努力目標・具体策の評価
④各評価項目における調査や実施状況の検証

評価表に基づいた次年度改善策の検討
評価者…教職員　時期…１・２月　方法…評価表

次年度プランへ
学校評価の公表
PTAだより・ホームページ等
学校評議員への説明・意見聴取
学校関係者評価委員への説明・意見聴取

評価の実施方法

		①基本的生活習慣の確立と規範意識の定着	②基礎学力の定着を図り、実社会で通じる実践力の体得	③特別活動の充実を図り、地域連携の一層の推進	④進路実現を達成する進路指導の徹底
(1) 重点目標					
達成するために		・粘り強い生徒指導と教育相談係の組織的活用	・ICT を含む学習環境の整備 ・主体的・対話的な学習展開の実践 ・基礎学力定着度合いの観察	・部活動の活性化 ・４学科や外部機関との連携・協力の推進 ・地域への情報発信	・進路を見据え、３年間を通した進路計画の立案と実践
(2) 評価項目		○規範意識の向上に向けた生徒指導の取組状況や達成状況 ○ケース会議の実施と校内での情報交換会の実施や関係機関との連携状況	○基礎学力向上の取り組み状況や達成状況	○部活動の活性化状況 ○学校行事の効果的な計画とその取組状況	○各学年の進路指導の取組状況や達成状況 ○３年生の進路実現状況
(3) 評価の観点、評価基準等		本校の将来構想の実現に向け中・長期的な視点で目標を重点化し、昨年度の反省を踏まえて、さらなる改善向上が図れるよう評価項目を作成した。 学校評価アンケートばかりでなく、授業評価、進路や生徒指導等の実状を踏まえた各種調査などを行い、多面的な観点で評価をする。その際、証拠（データ等）に基づいた評価となるよう工夫する。			
(4)	実施時期	１１月　学校評価アンケート（生徒・保護者・教職員） １２月　授業評価アンケート ２月　年度末学科・学年・各部の反省と評価 随　時　各評価項目における調査や実施状況の検証			
	実施方法	○挨拶の励行、身だしなみ、時間遵守の徹底。整理整頓、清掃の達成状況を学校生活アンケートで検証するとともに、学校評価アンケートによる状況評価を行う。 ○生徒指導や教育相談関係の問題発生内容等の調査により、生徒の実態を把握するとともに学校評価アンケートによる状況評価を行う。	○基礎学力向上に向け、徹底した授業研究を実践し、「基礎力診断テスト」及び学校評価アンケートによる状況評価を行う。	○部活動活性化の取組について状況評価を行う。 ○学校行事・学科行事の取組状況や目標達成状況を検証するとともに、学校評価アンケートによる状況評価を行う。	○学年ごとの目標達成状況を検証するとともに、学校評価アンケートによる状況評価を行う。 ○各学期に実施する進路希望調査を参照し、進学・就職率及び進学・就職先調査により、３年生の進路実現状況を検証する。
(5)	公表時期	２　～　３月			
	公表の方法	○学校評議員に結果を報告（１月） ○ＰＴＡだより及び本校ホームページに結果を掲載（３月） ○教育委員会に結果を報告（３月）			

令和７年度 教育方針と重点目標

1 校　　訓 「寛・明・正」

2 教育目標 心身ともに健康で地域産業の一翼を担う、志をもった指導的産業人を育成する。

3 目指す学校像

1）総合産業高校として、産業全般の基礎的な知識・技術と各分野の高い専門性を身に付けたスペシャリストを育成する。

2）充実したキャリア教育をとおして豊かな人間性や倫理観・規範意識を高めさせ、地域産業を担う人材を育成する。

3）豊富な学校・学科行事をとおして集団の一員としての役割を自覚させ、主体的に行動する力を育成する。

4 今年度の重点目標 ～生徒ひとり一人に寄り添い、生徒の自立と成長を促す～

自己有用感を高め主体的に取り組み、他人を尊重できる生徒を育成

❶基本的生活習慣の確立と規範意識の定着

挨拶の励行、正しい容儀・規則正しい生活習慣の確立
遅刻欠席早退の減少を目指す（出席率の向上）
整理整頓、清掃、発達障害等への適切な対応(**教育相談係の組織的活用**)
外部関係機関との適切な連携

❷基礎学力の定着を図り、実社会で通じる実践力の体得

各学科の専門性を深化させる、生徒の実態に合わせた興味関心を促すわかる授業の展開
学習環境の整備(**ICT環境整備**)、授業の指導内容・方法・評価の研究

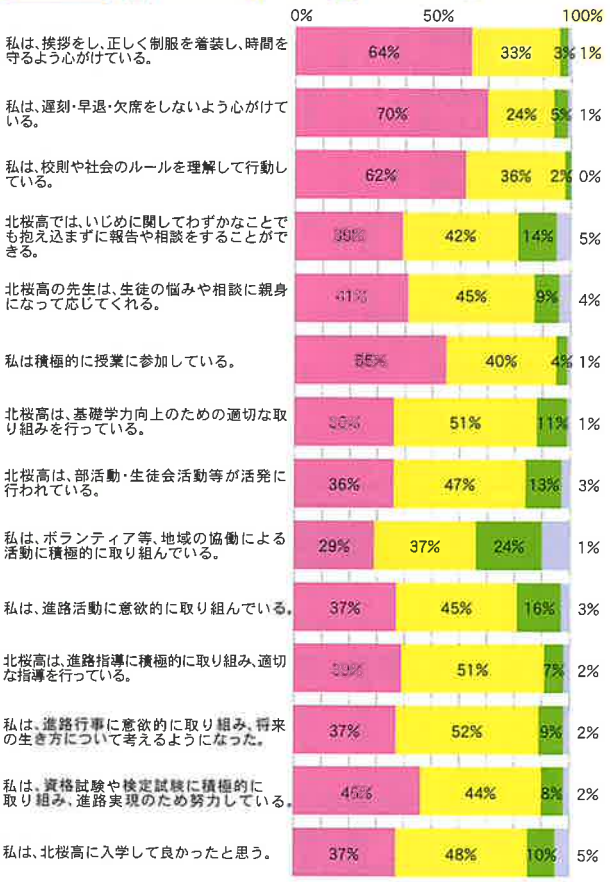
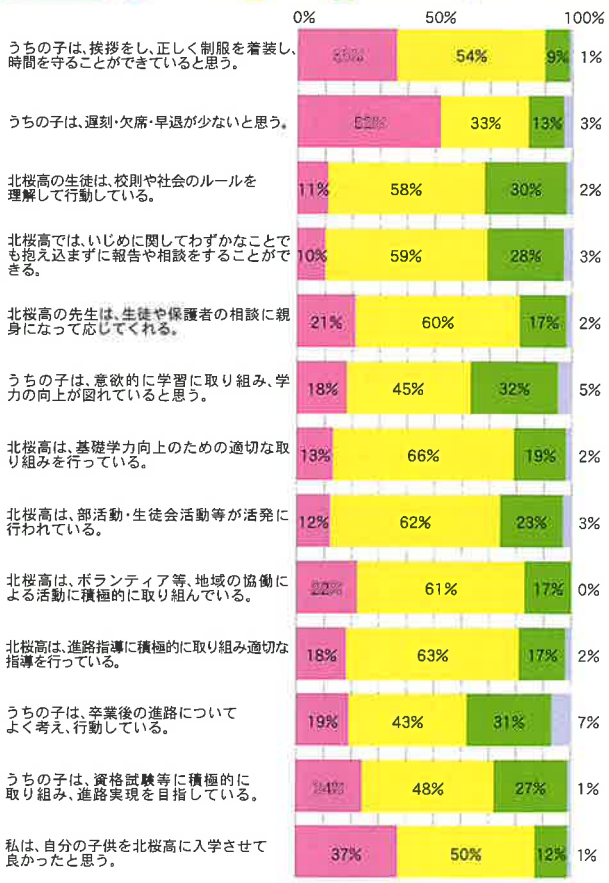
❸特別活動の充実を図り、地域連携の一層の推進

部活動の活性化、４学科の連携、地域連携行事等への積極的参加
地域連携の推進を図り、さらなる情報発信（HPの活用）

❹進路実現を達成する進路指導の徹底

資格取得の推奨・指導、生徒に基礎基本的な資格を取得させる
意欲・能力がある者には上位級を目指させる
３年間を見通した進路の計画と実践

資料1 令和７年度 学校評価アンケート 生徒（319名）



資料２ 令和７年度 学校評価アンケート 保護者（229名）